



ミグワニ県教育官会議

初年度から、県教育局長の主催で、定期的に教育官との協議が始まった。この会議では、当会より新設校での土地の保全が曖昧であること、学校に土地保全を働きかけていることを報告し、教育事務所も学校を支援することを約束した。その後、土地保全に教育事務所の積極的関与も行なわれるようになった。

また、当会の半年の活動をへて、局長が小学校女児の早期妊娠が深刻な問題であることに同意し、2年度は、早期妊娠予防研修を実施することで合意した。

2年度も、定期協議を継続する。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ミグワニ県教育局長事務所
撮影日:2011年9月9日
ファイル名:1109hn173.jpg



教員対象エイズ教育研修

初年度に第1・2課程を開始した。第1課程では、理科を主題として扱うことで、すべての教科で扱われているエイズの理学的知識を、理科教員のみならずすべての教員が身につけ、かつエイズ問題の社会的側面を理解する研修が行われた。

グループワークで教案を作成し、模擬授業を実施した。また、女児の早期妊娠の事例も報告された。

2年度には、県全域で、第3課程までの完了をめざす。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ミグワニ教育リソースセンター
撮影日:2011年6月20日
ファイル名:1105kt107.jpg



幼稚園教師対象保健エイズ研修

初年度、全県の幼稚園教師を対象に、子どもの保健およびエイズに関する知識・技能の習得と保健活動の形成をめざす集合研修を開始した。子どものケアばかりでなく、母親の性と生殖に関する健康についても助言できる人材となることもめざす。

2年度には、研修を終了し、いくつかの幼稚園を選定して、教師と保護者の保健知識と能力向上のための個別研修、保健活動の形成、園児専用のトイレ作りなどに取り組む。

撮影場所:ミグワニ県ゾコア教育区ゾコア小学校
撮影日:2011年11月16日
ファイル名:1111am004.jpg



施設拡充:レンガ焼成実地研修

初年度は、3新設校で建設のための学校運営能力向上研修の覚書を締結した。

イゼンゼ小学校では、土レンガの焼成方法について実地研修を実施した。1378個のレンガが既に焼成されていた。保護者は、自ら焼成した際にうまくいかなかった点を積極的に専門家に質問したり、専門家の説明に熱心に耳を傾け理解を深めている様子であった。

2年度は、新たに4校での教室建設に取り組む。

撮影場所:ミグワニ県ティタニ教育区イゼンゼ小学校
撮影日:2011年7月22日
ファイル名:1107nh078.jpg



施設拡充:建設作業

初年度にムルリニ小学校で実施した基礎壁の設置作業。

同校は、教会から土地を供与されると思っていたが、当会との学校運営能力向上研修の一環として教会と話し合ったところ、土地供与はしない意向が示された。話し合いの結果、土地使用を認める正規契約書が作成され、県教育局長が確認署名をすることで土地を保全した。

なお、本事業で建設する教室は、新たに取得した学校に所有権がある土地に建てている。

撮影場所:ミグワニ県ティタニ教育区ムルリニ小学校
撮影日:2011年12月21日
ファイル名:1112nm046.jpg



施設拡充

新設校のカンベンベ小学校は、丘の頂上の狭い土地のみだったが、初年度、自主活動として隣接する斜面の土地を購入し、地ならしや、教室建設作業を開始した。

2年度は、学校の自主活動である教室建設と並行して、当会との教室建設の準備である学校運営能力向上研修を行ない、さらに、教室建設もめざす。

- * 写真右: 自主活動として建設している教室の基礎部分
- * 写真左: 当会との教室建設のために地ならした土地

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ教育区カンベンベ小学校
撮影日:2012年2月14日
ファイル名:1202hn137.jpg/1202hn129.jpg



環境保全＋教室構造補修

初年度、クワキエル小学校について、当会・ミグワニ県教育事務所・保健事務所とで、土地の侵食状況、教室への影響を事前に確認し、対処方針について検討した。その後、行政官も同席して、保護者総会を開催して、問題への対処を話し合った。

当会専門家が、侵食状況やその対処ならびに将来の教室の構造補修について説明している。まずは、学校として、教室周りの土壌保全に取り組むことで合意した。

撮影場所:ミグワニ県ゼルニ教育区クワキエル小学校
撮影日:2011年11月1日
ファイル名:1111hn010.jpg



ミグワニ県:
クワキエル小学校



(注)点線が、その後に構造補修
をするために土壌を戻す必要が
あるレベル。

環境保全＋教室構造補修

2年度、クワキエル小学校では、土壌浸食によって教室の基礎部が浸食されている部分について、保護者の参加によって、壁から2メートル離れた位置に並行して保持壁を点線の高さまで建設する。そして、流失土壌を埋戻す。

さらに、土壌保全が完了すれば、教室の構造補修に取り組む予定である。

撮影場所:ミグワニ県ゼルニ教育区クワキエル小学校
撮影日:2011年9月23日
ファイル名:1109hn617.jpg/1109hn610.jpg



環境保全

初年度、新設校のムルリニ小学校では当会との教室建設を実施した。

2年度、同校の環境保全事業を実施する予定である。同校は、傾斜地にあり、校庭での土壌流出(細溝浸食)が発生しつつあるため、その保全事業を学校と検討している。

撮影場所:ミグワニ県ティタニ教育区ムルリニ小学校
撮影日:2011年8月24日
ファイル名:1108hn093.jpg



地域の健康のための戦略会議

初年度、村の公的リーダーである村長老を対象に、エイズと母性保護に関わる保健知識の研修と地域の課題への理解を深める講義と、解決にむけての話し合いを実施した。この村長老との関係構築によって、住民へのエイズ・母性保護の学習会を行うことができた。

2年度は、村長老の協力をえて、各村から住民代表を選抜して、基礎保健研修を集中的に実施する。

撮影場所:ミグワニ県ミグワニ郡ザウニ区長事務所

撮影日:2011年3月16日

ファイル名:1103hn126.jpg



エイズ公開学習会

初年度、当会専門家がエイズについて住民へ直接情報を提供し、住民がその情報に基づいて考え話し合う機会を形成することをめざして、学習会を実施した。

陽性者の両親からは陽性者の子どもしか生まれないなどの、多くの誤解が見られた。またコンドームを誰も見たことがなく、使い方や知識に関しても誤解があった。

2年度に実施する基礎保健研修への参加者を募る役割も担っている。

撮影場所:ミグワニ県ゲータニ郡ターナザウ区カサヴィニ食堂

撮影日:2011年5月10日

ファイル名:1105kt012.jpg



母性保護公開学習会

当会専門家が母性保護について住民へ直接情報を提供し、住民がその情報に基づいて考え話し合う機会を形成することをめざして、学習会を実施した。

妊娠や危険出産について当会専門家から説明が行われた。子どもの早期妊娠の事例も確認された。

2年度に実施する基礎保健研修への参加者を募る役割も担っている。

撮影場所:ミグワニ県ゲータニ郡ゴンゴニ区マカラニ市場

撮影日:2011年6月16日

ファイル名:1106am016.jpg